

平成25年度
徳島県公立高等学校入学学力検査(特色選抜)成績表

受検者総数 834名

年度 教科	本年度		平成24 年度の 平均点 と比較	過去5 か年の 平均点 と比較	平成24年度		過去5 か年の 平均点
	平均点 (40点満点)	標準偏差			平均点 (40点満点)	標準偏差	
国語	26.9	7.2	- 0.4		27.3	7.2	
数学	21.4	11.0	+ 0.9		20.5	10.8	
社会	27.2	8.7	+ 4.0		23.2	9.6	
理科	23.0	9.7	- 0.7		23.7	9.3	
英語	24.4	10.5	+ 3.9		20.5	12.2	
5教科総合	24.6	8.2	+ 1.6		23.0	8.7	

年度 教科	平均点						
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
国語				24.4	27.3	26.9	67.3%
数学				28.6	20.5	21.4	53.5%
社会				22.9	23.2	27.2	68.0%
理科				24.9	23.7	23.0	57.5%
英語				25.1	20.5	24.4	61.0%
5教科総合				25.2	23.0	24.6	61.5%

平成 2 5 年 度

徳島県公立高等学校入学学力検査の成績結果（一般選抜）の概要

本年度の徳島県公立高等学校入学学力検査（一般選抜）は、国語、数学、社会、理科、英語の5教科について実施した。

配点は、各教科100点満点で、学力検査の総点は、500点満点である。

問題作成に当たっては、中学校学習指導要領に示された範囲内で、平常の学習によって養われた力で解答できる問題となるように配慮した。

基礎的・基本的な知識・技能の定着の程度や、思考力、判断力、表現力等をみることができる問題を出題した。また、選択肢形式の問題と記述形式の問題とのバランスを考慮し、文章記述の問題も加えた。

5教科総合の平均点は、100点満点に換算して、53.5点であり、昨年度より4.4点低く、過去5か年の平均点より1.9点低かった。なお、成績集計の結果は、別表のとおりである。

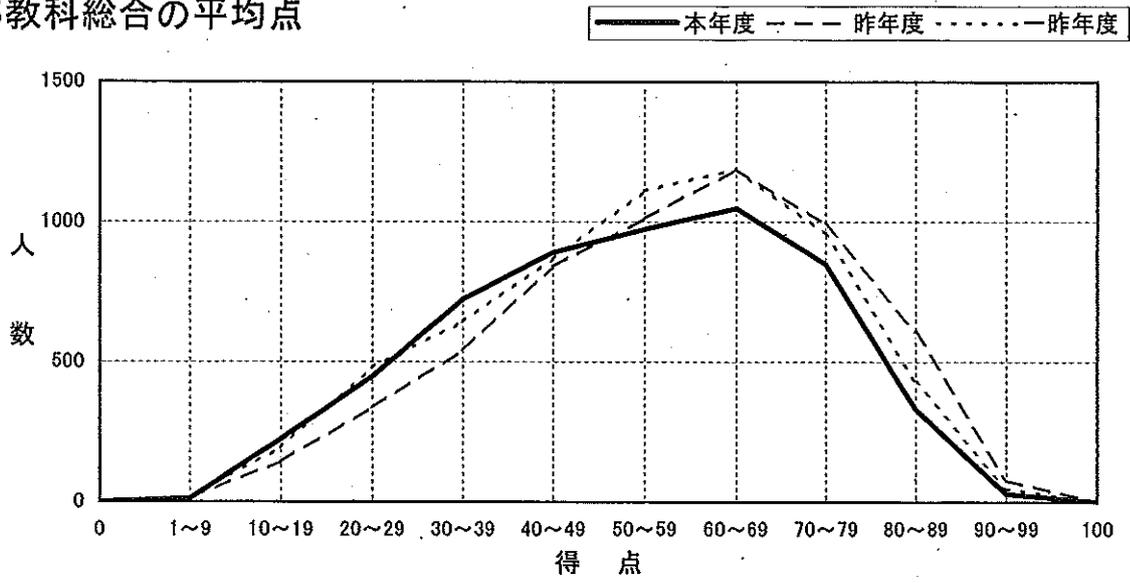
平成25年度
徳島県公立高等学校入学学力検査(一般選抜)成績表

受検者総数 5540名

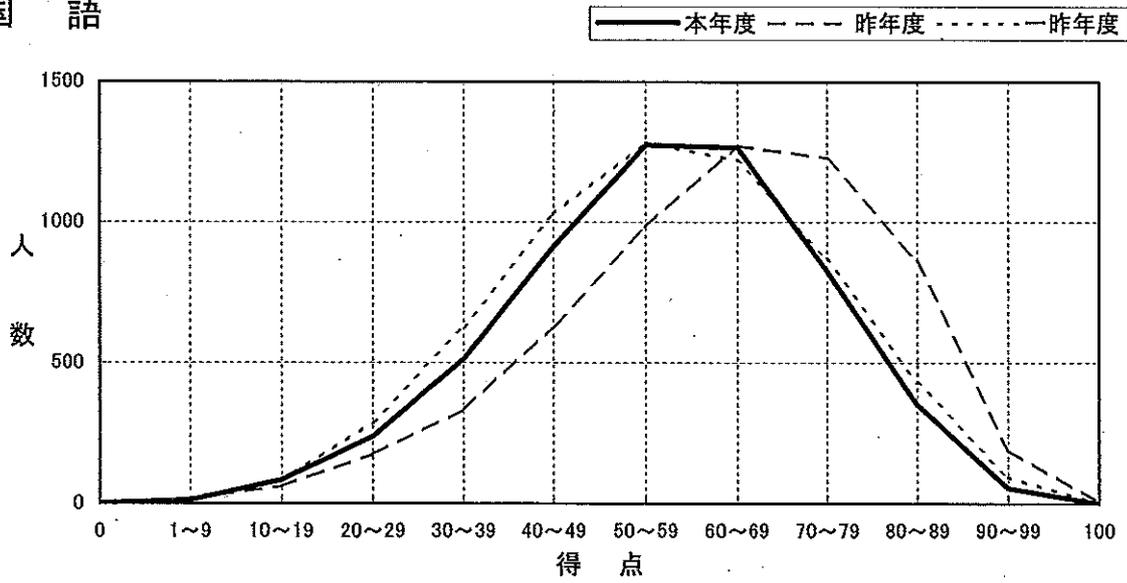
年度 教科	本 年 度		平成24 年度の 平均点 と比較	過去5 か年の 平均点 と比較	平 成 2 4 年 度		過去5 か年の 平均点
	平均点	標準偏差			平均点	標準偏差	
国 語	56.5	16.6	- 6.6	- 4.2	63.1	17.6	60.7
数 学	45.6	20.5	- 8.1	- 5.0	53.7	20.1	50.6
社 会	56.9	21.5	+ 2.1	+ 1.8	54.8	20.3	55.1
理 科	51.5	22.4	- 8.4	- 6.2	59.9	20.5	57.7
英 語	56.9	22.3	- 1.0	+ 4.3	57.9	24.2	52.6
5教科総合	53.5	18.8	- 4.4	- 1.9	57.9	18.7	55.4

年度 教科	平 均 点					
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
国 語	61.3	67.1	55.5	56.4	63.1	56.5
数 学	50.0	48.5	53.2	47.7	53.7	45.6
社 会	55.3	55.2	50.8	59.6	54.8	56.9
理 科	60.4	59.2	53.6	55.5	59.9	51.5
英 語	51.2	51.2	46.3	56.2	57.9	56.9
5教科総合	55.7	56.2	51.9	55.1	57.9	53.5

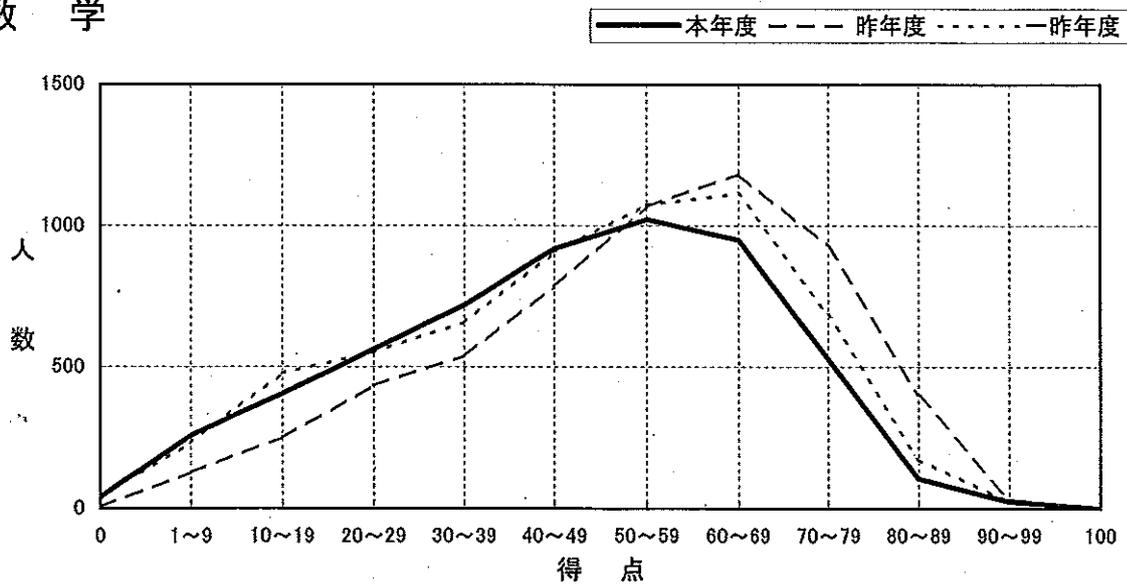
5教科総合の平均点



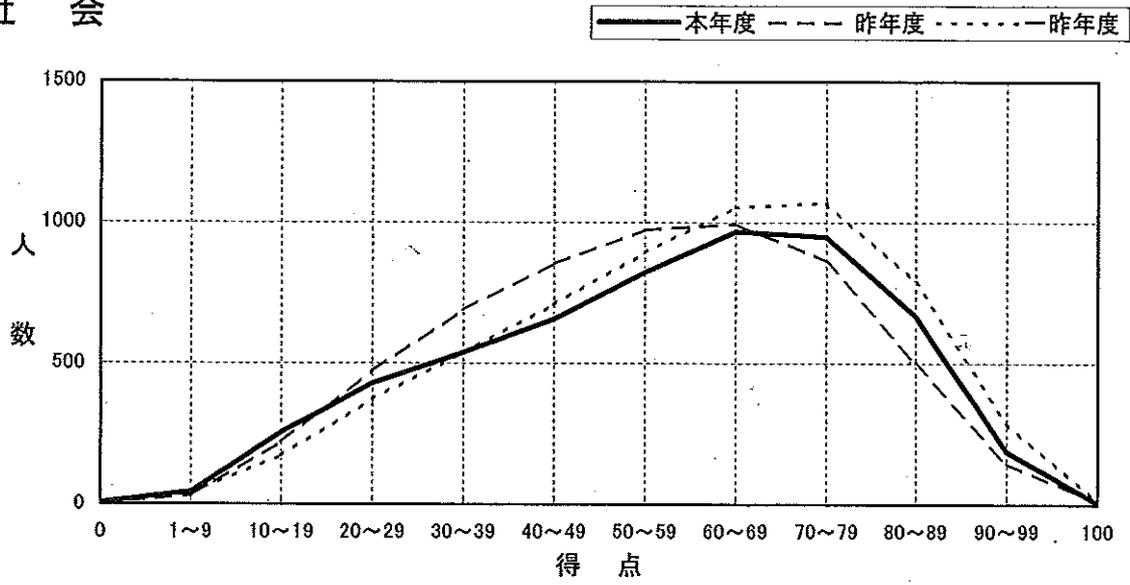
国語



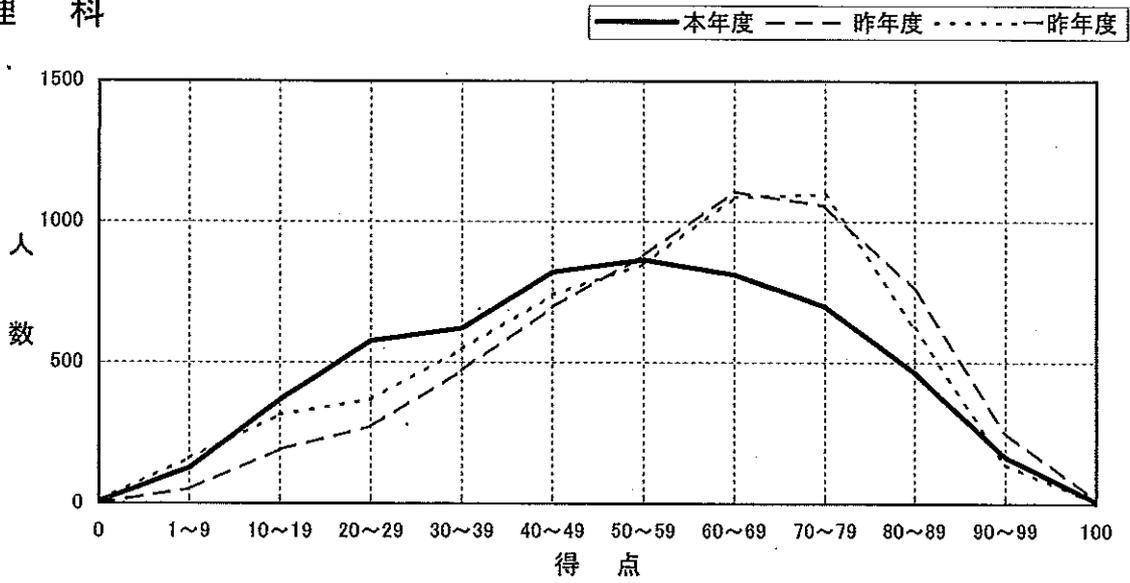
数学



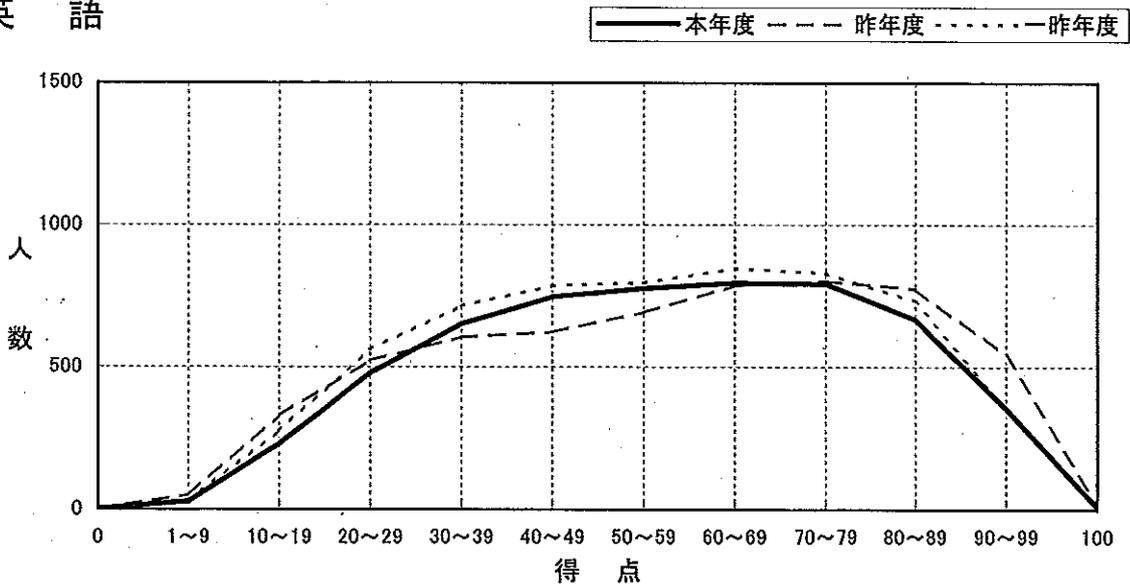
社会



理科



英語



平成25年度徳島県公立高等学校入学学力検査(一般選抜)成績結果の概要

教科	成績結果の概要
国語	<p>平均点は56.5点で、過去5か年の平均点に比べて4.2点低く、昨年度より6.6点低い点数であった。</p> <p>漢字の読み書きや古文の基本事項等については概ね良好な結果となっているが、「制約」という漢字の書き取りや品詞名を問う文法事項の正答率は低かった。また、登場人物の心情や本文の内容を条件に沿ってまとめる記述問題については正答率が低かった。古文については、文章を丁寧に読解し本文の内容と合うものを選択する問題は、正答率が低かった。</p>
数学	<p>平均点は45.6点で、過去5か年の平均点に比べて5.0点低く、昨年度より8.1点低い点数であった。</p> <p>数や文字式の計算、関数の立式などの基本的事項の理解力をみる問題は良好な結果となっている。しかし、比に関する問題や資料の整理に関する問題は正答率が低かった。また、文章を正しく読み取り計算式を立てて解答する問題や立体図形の問題も正答率が低く、無答率が高かった。</p>
社会	<p>平均点は56.9点で、過去5か年の平均点に比べて1.8点高く、昨年度より2.1点高い点数であった。</p> <p>地図や写真から判断される「リアス海岸」を答えたり、砂漠気候に該当する気温・降水量のグラフを選択したりする資料からの読み取り問題は、良好な結果となっている。しかし、地図やグラフなどを見て、関連する様々な知識を活用し、統計結果の理由を判断する問題や、時代背景に関する問題、また、時差を計算する問題、説明文から「労働組合法」を答える問題は、正答率が低かった。</p>
理科	<p>平均点は51.5点で、過去5か年の平均点に比べて6.2点低く、昨年度より8.4点低い点数であった。</p> <p>基礎的・基本的な知識・技能の定着をみる問題では、「示準化石」や「食物連鎖」を答える問題など、正答率が高いものが多く、概ね良好な結果であったが、単体の物質を選択する問題など、正答率がやや低いものもあった。また、ヘモグロビンや炭酸水素ナトリウムの性質を説明する問題、実験データなど複数の資料から必要な情報を取り出して答えを導く問題では、正答率が低かった。</p>
英語	<p>平均点は56.9点で、過去5か年の平均点に比べて4.3点高く、昨年度より1.0点低い点数であった。</p> <p>リスニング問題や対話を完成させる問題、英作文の並べかえ問題や英文の内容についての基礎的な問題では、良好な結果となっている。また、対話文の読解では、昨年度に比べて無答率が下がっている。しかし、読解問題で全体像を捉える問題や、英文の要約を完成させる問題、英文で表現する問題では、正答率がやや低かった。3つの文を選んで英作文する問題では、昨年度に比べて、無答率には変化はないが、正答率は上がっている。</p>